

香川県労福協機関紙

No. 210号

四国労働金庫

こくみん共済coop

連合香川



(一社)香川県労働者福祉協議会

高松市番町3-5-15

四国労金番町ビル

TEL 087-833-4253

FAX 087-833-4255

発行責任 福家良一

編集責任 熊野浩信

謹賀新年



香川県労働者福祉協議会
会長 福家良一

新年あけましておめでとうございます。

香川県労働者福祉協議会の会員の皆さま、並びに関係諸団体の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと拝察いたします。旧年中は、弊会ならびに労働者福祉事業団体の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、自然災害に加え、大規模火災や熊による被害、さらには老朽化したインフラによる事故など、従来とは異なる災害や不安が全国各地で広がった一年でございました。労働組合の尽力により、一昨年に続き高率の賃上げが実現したものの、物価上昇には追いつかず、実質賃金は依然として減少傾向にあり、労働者の生活は決して安定しているとは言えない状況です。

そのような中、香川県労福協では、連合香川・労金・こくみん共済coopと連携し、働く人々を側面から支援するとともに、ご家族

連れにもご参加いただいている「グッド・らいふ」事業を企画いたしました。また、「高齢者家事サポートセンター」を通じたOBの方々への支援、地域の皆さまへの支援として「くらしの相談センター」や「フードドライブ」の運営にも引き続き取り組んでまいります。

労働者福祉事業は、皆さまのご支援なくしては成り立ちません。今後とも香川県労福協ならびに労働者福祉事業団体への変わらぬご支援をお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



お
め
で
と
う
ご
ざ
い
ま
す



労働者福祉中央協議会
会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、7月に実施された第27回参議院選挙により、衆参両院で少数与党となる政治情勢となり、政局の構図が大きく変化しました。こうした政治情勢の中、食料品やエネルギーなど生活に直結する物価の上昇が続くなど、国民生活の厳しい状況は改善されていません。

労福協が進める「高等教育費負担の軽減」については、昨年3月に「大学等における修学の支援に関する法律」（大学等修学支援法）の改正が実現しました。しかし、支援対象は扶養する子が3人以上の多子世帯など一部の拡充に留まる結果となりました。高等教育への進学率が

9割近くに上る中、同じ学生であっても支援を受けられる人と受けられない人が発生しており、学生間でも分断が生まれています。私たちには引き続き、教育の機会均等や奨学金制度の改善を通じて、誰もが安心して学ぶことのできる社会の実現に向けた取り組みが求められています。

また、協同組合運動の振興と労働者福祉運動の発展に向けた取り組みとして、昨年は2025国際協同組合年を記念して労働団体・事業団体・地方労福協はもちろんのこと、地域の様々なネットワークとの連携を推進してきました。本年も引き続き、お互いを支え合い助け合う、地域共生社会の実現をめざす取り組みとして、具体的な対応を進めていきます。

今、私たちはめまぐるしく変化する社会に生きています。しかし、社会がいかに変化しようとも、労福協の理念である「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくる」ことは変わりません。私たちは、本年も「福祉はひとつ」の思いの下、社会的な連帯と共助の輪を広げ、労働者福祉の取り組みを力強く展開していくことをお誓い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

動画ツールのご紹介

▶ **「よくわかる!! 労働者自主福祉運動」**
 ～働く人たちが作り上げてきたもの～

組合役員向け

労組役員になった主人公と、生協の生みの親である賀川豊彦との対話を通じ、「労働者自主福祉運動」をわかりやすく解説しています。
 労組役員の皆さんの研修会にて是非ご活用ください。

動画ツール	内 容
① よくわかる労働者自主福祉運動 現状編	労働組合の役割や労働者自主福祉運動の果たす役割について
② よくわかる労働者自主福祉運動 歴史編	労働者自主福祉運動の成り立ちやその歴史について
③ よくわかる労働者自主福祉運動 課題編	労働組合や労働者自主福祉運動が抱えている課題について
④ よくわかる労働者自主福祉運動 全編通し	①②③の全編通しの構成となっています。

動画はこちらの二次元コードよりご視聴いただけます

現状編

歴史編

課題編

全編通し

(公開期限: 2026年5月31日まで)

明けまして
おめでとう
ございます



こくみん共済coop香川推進本部
本部長 豊田 雅人

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

また、平素よりこくみん共済coopの助け合い運動に、格段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

1954年に火災共済をスタートさせて労働者の助け合い運動が始まりました。そして、この70年間、助け合いの制度だからこその掛金

各地区集会を開催

12月2日と5日に、地区再編後として初めての西部地区および東部地区集会を開催しました。

上半期の活動を振り返るとともに、下半期の推進方針について協議を行いました。下半期については、年度当初に確認した活動計画の完遂を基本としつつ、自動車関連共済・住まいる共済・貯蓄性商品を重点共済と位置づけた取り組みの一層強化と、「新入組合員」の加入促進と共済理解の深化をすすめることを確認いただきました。

また、香川県労福協から熊野専務理事をお招きし、「労働者自主福祉運動」について講演いただきました。労働者自主福祉の原点について、あらためて理解を深める貴重な機会となりました。



で、様々なリスクに対応できるよう共済制度の拡充を図ってまいりました。

昨年11月には佐賀県で酒田大火以来約50年ぶりの都市大火が発生し、一夜にして多くの人が住家を失いました。自身がいくら火災を起こさないよう気を付けていても延焼による火災まで防ぐことができないのが現実です。

安全運転を心がけていても交通事故を100%防ぐことはできませんし、健康に気を使っても、突然、病気を発症することもあります。避けることのできないリスクが溢れる中で、生活を再建させることのできる保障がなければ、毎日が不安でたまらないと思います。

いつ起きてもおかしくない南海トラフ大地震、気候変動に伴う自然災害の激甚化・頻発化も目に見える形で進んできていますが、この状況は、不安を安心にかえる共済の必要性が更に高まっている状況とも言えます。

こくみん共済coopの理念「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を実現するために、今年も皆様の協力を得ながら共済推進活動を展開してまいります。

結びに、2026年が皆さまにとりまして、健康で幸多き年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とします。

第1回産別推進委員会を開催

2025年11月19日に第1回産別推進委員会を開催しました。

上半期の活動内容および下半期の推進（案）について報告を行ったほか、損害系補償（保障）の推進活動の一助としていただけるよう、「マイカー共済・住まいる共済を推進する意義とは？」をテーマに外部講師による学習会を実施しました。

また、自賠責共済の推進方法として、自賠責共済Webアンケート推進（満期お知らせサービス）の活用方法について説明を行いました。引き続き、各協力団体の皆さまとともに、よりよい取り組みにつなげてまいります。

こくみん共済 NEWS

「もしも」に備え 「もしも」を防ぎ 「もしも」に向き合う。

こくみん共済 coop の始まりは1954年。

以来、たすけあいの仕組みである共済を通じ、たくさんの組合員の暮らしを支えてきました。

事故や病気、自然災害など、日々の暮らしは、さまざまなリスクと隣り合わせです。

だから私たちは、共済による「もしも」への備えはもちろん、

「もしも」を防ぐことや「もしも」の備をサポートすることが重要だと考えています。

身近にあるリスクに向き合い、たすけあいの輪で支え合う。

ぜひあなたの力を貸してください。

こくみん共済 coop は、これからも

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会」の実現に向け、

皆さんとともに取り組んでいきます。



会費キッズクロー
ビットでん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉
全国労働組合共済連合会 共済 coop

「こくみん共済 coop」は富利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

明けまして
おめでとう
ございます



四国労働金庫
香川営業本部長 橋本文弘

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、ご家族やご友人お揃いで健やかな新年をお迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より、「四国ろうきん」推進にあたり格別のご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

未だ世界情勢悪化・混乱や物価高騰が続行し、私たちの生活を直撃している中、金利のある世

界、すなわち貸出や預金の金利上昇する流れとなり、私たち一人ひとりの世代や資産状況によって受ける恩恵と負担が混在する状況となりました。

このような中、私たち「四国ろうきん」は、相互扶助を大切にして働く人の夢と共感を創造するため、生活実態や環境変化を見逃さず、全世代の声を広く聞き、金融知識や幅広い見識を持って各々のライフステージに役立つ商品提案や情報提供に努めるなど、“ろうきんらしい”お客さまに寄り添ったお役立ち活動に取り組んでおります。

本年も、働く仲間が作り、働く仲間が利用し、生活者本位に考える協同組織の福祉金融機関として、その役割を果たし、会員やお客さまに信頼され選択され続けていただけるよう日々の努力を怠らず邁進してまいります。引き続き「ろうきん運動」推進に対するご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

四国労働金庫活動報告

社会貢献活動報告

(1)「助成金」の贈呈について

当金庫は、社会貢献活動の一環として、2002年度より「助成金制度」を制定し、四国内で活動しているボランティア団体・NPO法人等を対象に助成金を贈り、地域の福祉活動を支援しています。

2025年度の助成金募集（募集期間：2025年6月1日～2025年7月31日）は、29団体より4,467,400円の助成金応募があり、当金庫の資金助成選考委員会（学識者、会員代表者、金庫役員で構成）で選定審査を行った結果、20団体の活動に対して計2,922,000円の助成金を贈呈いたしました。



[香川県の助成先および助成金額]

助成先団体名	団体所在地	助成対象活動	助成金額
一般社団法人 Link Eat さぬき	高松市	地域住民に対する栄養支援事業	200,000円
特定非営利活動法人 グリーンサポートてらすば	高松市	不妊・不育・流産・死産・人工死産・新生児死等のグリーンサポートの情報提供と分かち合いの場づくり	200,000円
特定非営利活動法人 つながる・つむぐ・海と空	丸亀市	MGBコレクション	200,000円
きょうされん香川支部	東かがわ市	第22回 四国ブロック 学習交流会in香川	185,000円

[香川地区助成金目録贈呈式]

- ・日時：2025年10月30日（木） 10時00分～
- ・場所：四国労働金庫本店ビル 4階第2会議室

四国労働金庫活動報告 「会員労組書記研修会」 を開催

2025年11月12日(水)、「ホテルパールガーデン」にて開催しました。

会員労組等から書記66名の皆さまにご出席いただき盛大に開催することができました。



四国労働金庫活動報告 各店推進委員会イベントを開催

(1) 内海出張所推進委員会は、2025年11月16日(日)に「寒霞渓ハイキング」イベントを開催し、お客さまをはじめご家族や友人など51名の皆さまにご参加いただきました。天候にも恵まれ、寒霞渓の雄大な景色を楽しみながら親睦を深めるとともに、ろうきん推進大抽選会も開催するなど盛大に開催することができました。



(2) 瀬戸大橋推進委員会は、2025年11月29日(土)に「丸亀城下町クリーン作戦」イベントを開催し、ご来賓に丸亀市長をお迎えするなど、お客さまをはじめご家族や友人など261名の皆さまにご出席いただきました。天候にも恵まれ、ろうきん推進大抽選会も開催するなど盛大に開催することができました。



～グッド・ライフ～ 「ふれあいバスツアーin USJ」を実施 ～多くの家族・グループで賑わいました～

2025年11月15日(土)、香川県内から224名(大人165名・小人59名)の参加を得て実施しました。

今年度より募集方法に先着順から抽選方法に変更した影響なのか、1か月前まで大阪万博が開催されていた影響なのか、募集定員に満たない応募となりましたが、当日は、早朝より多くの親子、グループの方に参加いただ



き、小春日和の温かな天候の中、楽しい時間を過ごしていただきました。

参加者からは「家族で参加でき楽しかった」「心身ともにリフレッシュできた」との感想をいただきました。また、「もう少し滞在時間が欲しい」「スケジュールがタイトであった」との意見もいただいています。





R ろうきん

あけまして
おめでとうございます

はたらくあなたの、
いちばんそばに。

本年もよろしくお願い申し上げます

二〇二六年 元旦

ろうきん
イメージモデル
森川 葵

～グッド・ライフ～ 「ふれあい町おこしin女木島(鬼ヶ島)」を開催

9月27日(土)、高松市女木島(鬼ヶ島)において「町おこしin女木島(鬼ヶ島)」を43名(大人19名、子ども16名、スタッフ8名)の参加を得て盛大に開催しました。

昨年イノシシ被害が発生し中止となった落花生収穫体験では、土の中から出てくる落花生に子供たちは大はしゃぎ。大人たちも汗だくになりながら収穫を楽しみました。

その後、バーベキューを5班に分かれて楽しみました。今回も火起こしから片付けまで参加者全員が協力して行い、食材の美味しさもさることながら、協力することの楽しさ、すばらしさを味わうことができました。

ゆっくりとバーベキューを楽しんだ後、海岸と松原の清掃活動を行いました。短時間ではありましたが、参加者全員で美しい島を残そうと



奮闘しました。さらに、清掃活動中に集めた貝殻・砂を使って「女木島の海を連れて帰ろう!」をテーマにストラップづくりに挑戦しました。

今回の町おこしでは、「島の自然に触れ、島特有のゆったりとした時間の流れを全身で感じる」ことができ、有意義な1日となりました。

～グッド・ライフ～ 「ふれあい芋ほり体験」を開催

今年は、2025年10月19日(日)、芋ほり会場を一会場(綾川町千正農園)に変更し、2部制(午前・午後)で開催しました。

当日は不安定な天候でしたが、182名(大人109名、子ども73名)の方に参加いただき、泥まみれになりながら芋ほりを楽しんでいただきました。今年も夏の猛暑の影響でさつま



芋が不作ではないかと心配していましたが、思いのほか豊作で、参加者には大変喜んでいただけようでした。また、恒例のお子様ビンゴ大会でも大いに盛り上がり、楽しい秋のひと時を過ごしました。



～グッド・ライフ～ 「ふれあいファミリーキッチン(第2弾)」を開催 ～クリスマスメニューに挑戦しました～

2025年12月13日(土)、丸亀市飯山総合学習センターにおいて、26名(大人15名・子ども11名)の参加を得て実施しました。

8組の親子・夫婦に参加いただき、「親子・夫婦で協力しながら料理作りを」テーマに、『パンドエグラタンとミニティラミス』を和やかな



雰囲気の中、協力し合いながら調理しました。また調理後、参加者全員で試食し、楽しい時間を過ごしました。

家族(親子・夫婦)で料理作りをすることで、家事労働の大変さ、そして、協力することの大切さも実感でき、今後の家庭での振舞い方に期待が持てるものとなりました。

参加者からは「家族で参加でき有意義だった」「小さな子供がいると親子で料理することは難しい。こういう機会はありがたい」との感想をいただきました。